

比較文化論 A

(1・2年 前・後期 2単位)

山屋 真由美

授業のテーマ・目標

世界各国の人々と友だちになり、快適な国際交流ができればいいなと憧れる皆さんへ。急速な国際化が進む現在、何気なく口にしたひと言や無意識のしぐさが相手を怒らせたり深く傷つけたりするケースが増えています。風俗習慣や価値観の違いが深刻な民族間の対立を生む事例すらも出てきているのです。この授業では、そのような悲しい行き違いをできるだけ防げるような異文化コミュニケーション能力をつけることが第一目標です。VTRなど視聴覚教材も取り入れながら、できるだけわかりやすく文化摩擦の問題に適應できるスキルを学んでいただきたいと考えています。

授業の内容

- 第1週 オリエンテーション
- 第2週 ルーマニア・エイズとイギリス系ボランティア看護師たち (VTR利用)
- 第3～5週 真のバリアフリー社会をめざして——『フォレスト・ガンブ』
- 第6週 異文化コミュニケーション・スキルアップのためのワークシート
- 第7・8週 現代アメリカ女性の本音を知ろう——「セックス・アンド・シティ」
- 第9・10週 みにくい日本人——文化摩擦の原因をさぐる
- 第11週 がんばるフィリピンの子どもたち (VTR利用)
- 第12週 価値観の違いを超えて——「ドナの物語」
- 第13週 中間総括
- 第14週 “マイケル・ジャクソン” という存在
- 第15週 総評・総括

テキスト・教材

教科書は使いません。必要に応じてプリントを配付します。

成績評価の方法・基準

定期試験および学期末レポートはありません。提出物90%・平常点10%の割合による総合評価です。(詳しいシステムは、初回オリエンテーション時に説明します。)

注意事項

学生さんたちの興味や理解度に応じて、扱うテーマや進行状況を調整していきますので、プログラムが変更になる場合もあります。皆さんの希望に添うよう努力しますので、何か意見があれば遠慮なく伝えてください。